

| | |
|-----------|-------|
| 受験者 氏名 | けいちゃん |
|-----------|-------|

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

所要時間
47分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在、地元不動産会社で事務として働いている。先日同居している義母のけがをして寝たきりになるかもしれない。その場合、自分が会社を辞めなければいけないと悩み、仕事と介護についての相談

1行目：前から2点、2行目：後ろから2点

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

- ① 相談者の方の「仕事を辞めなければ」と悩む気持ちに寄り添いつつ、他聴取することができた点。
- ② 質問の意図が伝わりづらかったり、「昌頭でもお話しして通り」と笑言で展開が進まなかった点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 相談者の問題点は2つある。(1)仕事や義母のけがについて、相談者自身の気持ちや思い込みがある点、(2)ご主人との関係性でコミュニケーション不足が受けられる点。
- ② その根拠 (1)「もししたら、自分が会社を辞めなければならぬ」「寝たきりになるかもしれない」「今後、介護が必要になったらどうしよう」と等の笑言から。(2)「王様はお腹いっぱい何」「そういうことを言う人だからとわかっていて」「今後一緒にやっていけるのかな？」等の笑言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の方のご主人に対する気持ちも受け取り継続して信頼関係構築すること。そのうえで、(1)「もししたら」「～かもしれない」という笑言から気持ちに考えられている可能性があり、医師や義母にも話しを伺い、改めて事実確認を行うという提案も。また、万一介護が必要になった場合について、他の家族も含めた協力体制が整っていないか一緒に考え、公的機関の介護について情報提供する。(2)ご主人と相談者のようなコミュニケーションを取っているか内容を伺い、最終的に仕事と介護について主体的に考えられるよう支援

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。